
2014年12月期 決算説明会

2015年2月9日



2014年12月期 通期決算

決算期(事業年度の末日)の変更について

決算期変更の経過期間となるため2014年度は、連結対象期間が前年度と異なるため、本資料では対前年度増減率を記載しておりません。

2013年度 (2014年3月期)	2013年 1~3月	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月	2014年 1~3月
当社及び国内連結子会社		1Q	2Q	3Q	4Q
海外連結子会社	1Q	2Q	3Q	4Q	

2014年度 (2014年12月期)	2014年 1~3月	2014年 4~6月	2014年 7~9月	2014年 10~12月
当社及び国内連結子会社		1Q	2Q	3Q
海外連結子会社	1Q※	1Q	2Q	3Q

※海外連結子会社の1~3月は、純利益を1Q期首の貸借対照表における株主資本の利益剰余金に直接加減するため、損益計算書には反映されません。

2015年度 (2015年12月期)	2015年 1~3月	2015年 4~6月	2015年 7~9月	2015年 10~12月
当社及び国内連結子会社	1Q	2Q	3Q	4Q
海外連結子会社	1Q	2Q	3Q	4Q

- 景気動向

- (世界経済)

- 欧州：緩やかな持ち直しの一方、地政学的リスク、原油安影響も

- 米国：堅調な雇用、個人消費により景気回復

- 中国：成長ペースが鈍化

- (国内経済)

- 消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減あるも

- 緩やかに回復

- 業績

- 販売：10月31日公表どおりの着地

- 液晶、カバーガラスの低調を、ガラスファイバ、光関連等が補う

- 損益：営業利益は予想に届かず

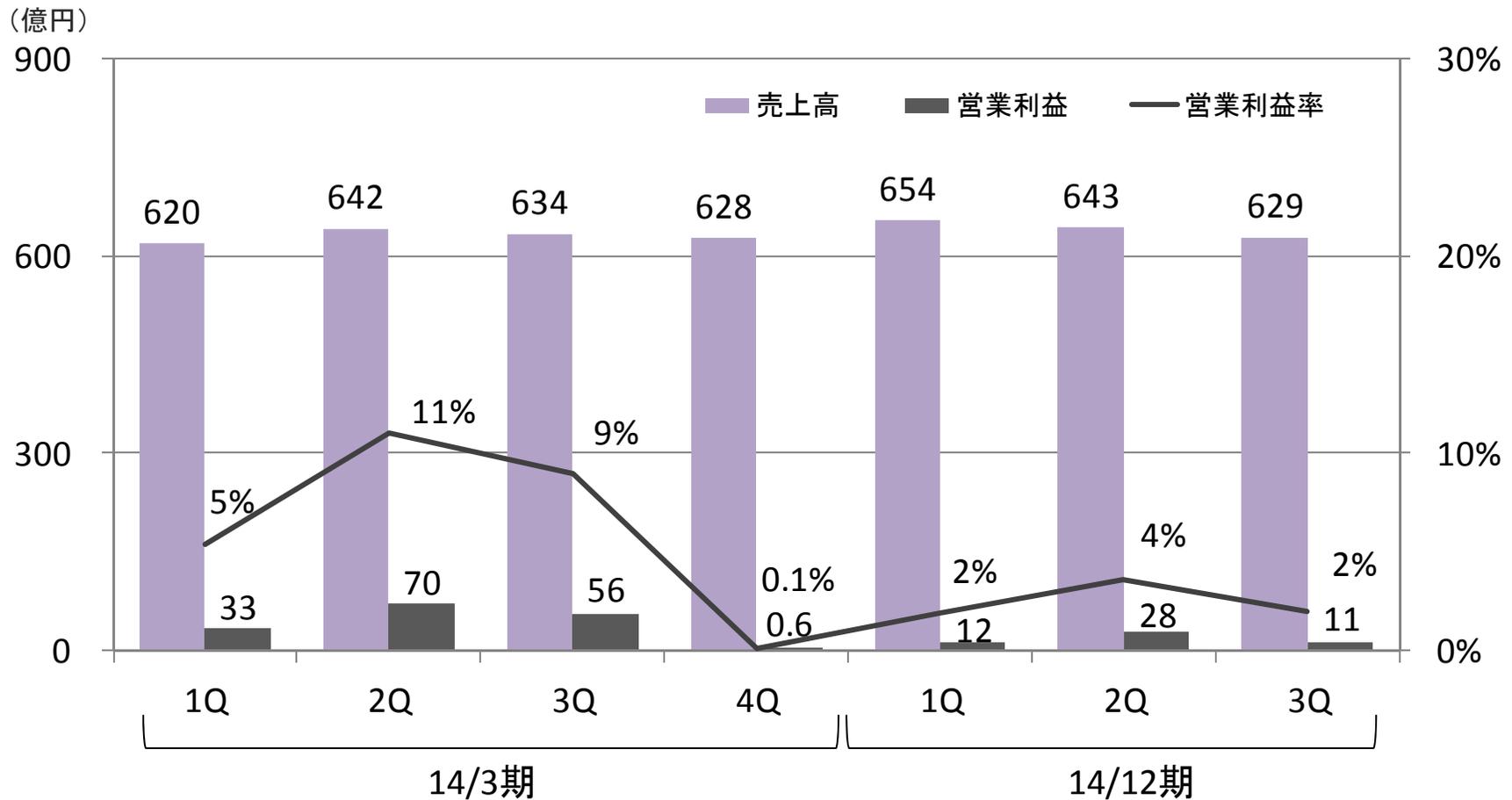
- 価格下落、原燃料費の上昇、新設備稼働、開発コストなどに係る費用増

連結業績の概要

(億円)

	14/3期		14/12期
	3Q累 (9ヶ月)	通期 (12ヶ月)	通期 (9ヶ月)
売上高	1,897	2,525	1,926
営業利益 (利益率)	161 (8%)	161 (6%)	52 (3%)
経常利益	144	143	68
特別損益	14	45	23
税前利益	159	189	91
純利益	104	124	59
1株当たり純利益	21.05円	24.99円	11.94円
純資産	5,068	5,108	5,225
自己資本比率	71.1%	71.2%	70.2%
1株当たり配当金	-	年間16円	年間12円

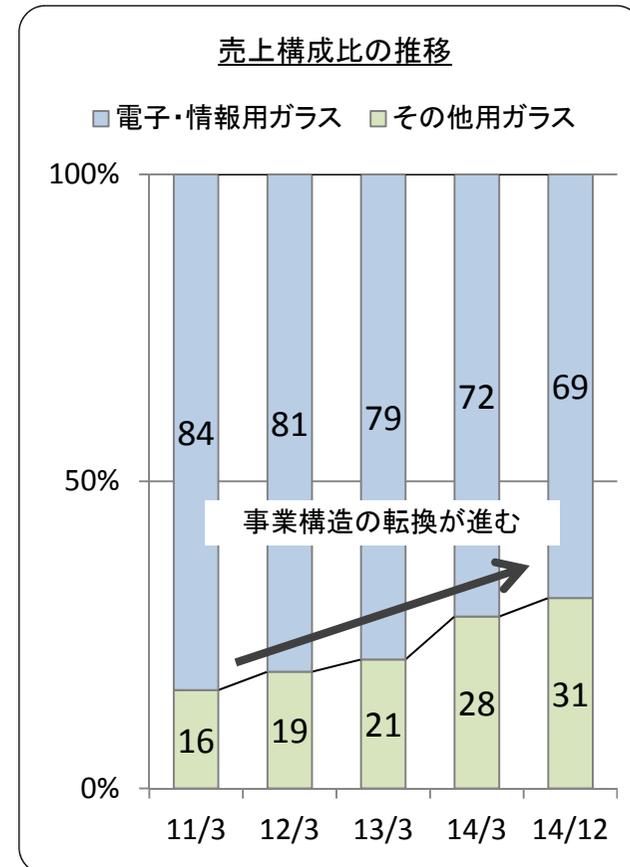
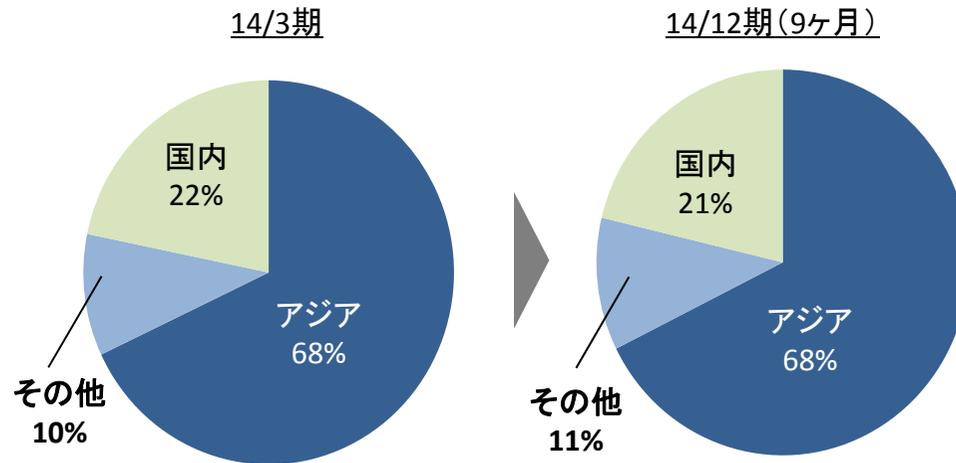
四半期業績の推移



事業分野別・地域別売上高

(億円)

		14/3期		14/12期
		3Q累 (9ヶ月)	通期 (12ヶ月)	通期 (9ヶ月)
ガラス 事業	電子・情報用	1,372	1,809	1,336
	その他用	524	716	590
合計		1,897	2,525	1,926



事業分野別の状況(1)

液晶:

- 3Q 数量: 2Q比、横ばい
価格: 2Q比、 Δ 1桁前半%下落
- 14年(1~12月)
数量: 前年比、+10%弱増加
価格: 前年比、 Δ 10%強下落

カバーガラス(化学強化専用ガラス) <Dinorex[®]>:

- ハイエンド機種^①の需要減速(1Q好調、2Qに大きく減速)
- 3Q 数量: 2Q比、微増
価格: 安定的
- 採用機種^②の拡大:
(10月)14ブランド/65機種 \rightarrow (1月)15ブランド/89機種

光・電子デバイス:

- イメージセンサ用カバーガラス: デジタルカメラ市場の不振で低迷
- 光関連: 通信インフラ需要の拡大で好調
- 汎用電子部品向け: 堅調

事業分野別の状況(2)

- 太陽電池用基板：
- 顧客稼働の高止まりにより堅調
- ガラスファイバ：
- 売上高： 12ヶ月換算500億円達成
 - 営業利益： 10%
 - 高機能樹脂用： 自動車市場の拡大を背景に堅調
 - セメント強化用： 海外を中心に受注が増加
- 医療・建築・耐熱：
- 医薬用管： 海外向けを中心に堅調に推移
 - 建築： 海外物件を中心に増加
 - 耐熱： 景気回復に沿って回復

連結貸借対照表

(億円)

	14/3末	14/12末	増減
流動資産	2,475	2,640	164
現金・預金	1,341	1,497	155
受取手形・売掛金	443	480	37
たな卸資産	573	560	△12
その他	117	101	△15
固定資産	4,595	4,671	76
有形固定資産	3,937	3,972	35
無形固定資産	26	29	2
投資その他	631	669	38
合計	7,070	7,311	241

	14/3末	14/12末	増減
負債	1,962	2,086	123
支払手形・買掛金	281	321	40
借入金・社債	994	1,091	96
未払法人税等	18	13	△5
特別修繕引当金	359	328	△30
その他	307	331	23
純資産	5,108	5,225	117
株主資本	4,891	4,899	8
その他の包括利益累計額	139	236	96
少数株主持分	77	89	12
合計	7,070	7,311	241

■流動資産

現金・預金(増): 社債発行

受取手形・売掛金(増): 販売回復

■固定資産

有形固定資産(増): 電気硝子(Korea)資産取得(+)

投資その他(増): 株式市況の回復

■負債

借入金・社債(増): 社債の償還(-)、新規社債の発行(+)

特別修繕引当金(減): 液晶設備の停止に伴う取り崩し

■純資産

株主資本(増): 利益(+)、配当(-)

その他の包括利益累計額(増): 株式評価(+)

為替換算調整(+)

連結キャッシュ・フロー計算書

	14/3期	14/12期
営業活動によるキャッシュ・フロー	466	388
税金等調整前当期純利益	189	91
減価償却費	358	284
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	9	△30
売上債権の増減額(△は増加)	25	2
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16	△4
仕入債務の増減額(△は減少)	△89	24
その他	△9	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△338	△292
固定資産の取得による支出	△453	△256
その他	115	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111	16
借入金・社債の増減額(△は減少)	△31	94
配当金の支払額	△79	△79
その他	△0	2
現金等に係る換算差額	4	10
現金等の増減額(△は減少)	21	123
決算期変更に伴う現金等の減少額(※)	-	△63
現金等の期末残高	1,238	1,298

(億円)

(営業CF)

- 税金等調整前当期純利益:
9ヶ月決算、利益低調
- 減価償却費:
近年の設備投資により高水準
- 仕入債務:
電気硝子(Korea)の第2期稼働等

(投資CF)

- 固定資産:
主に電気硝子(Korea)の資産取得

(財務CF)

- 借入金・社債:
社債の償還、新規社債の発行

※14年1～3月の海外子会社の現預金の変動額

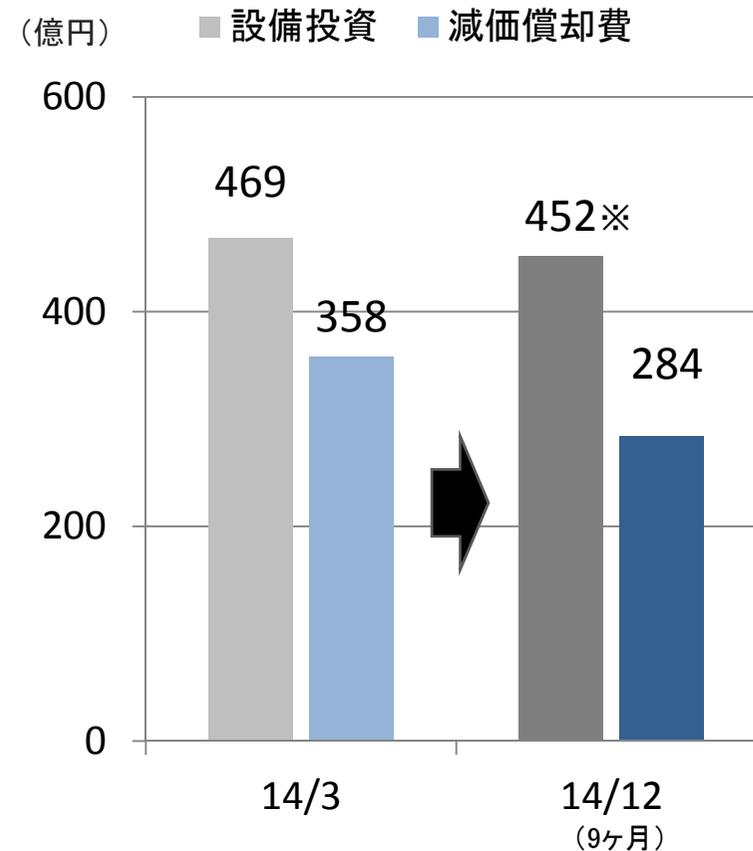
設備投資・減価償却費(連結)

設備投資

- 液晶用基板ガラスの海外展開など
(海外子会社1~3月の設備投資額を含む)
- 14/12期:452億円

減価償却費

- 1Qから3Qにかけて増加
- 14/12期:284億円(9ヶ月)



※海外子会社1~3月の設備投資額を含む

2015年12月期 業績予想

連結業績予想(1)

(2015年12月期)

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
1Q	600～630	10～20	0～20	0～10
通期	2,570～2,630	130～150	90～110	80～100

(前提)

概況	<ul style="list-style-type: none"> ● 欧州: 緩やかな持ち直しが続くも不透明感あり ● 米国: 景気回復が続く ● 中国: 成長減速による下振れ懸念 ● 日本: 緩やかに回復
原燃料	<ul style="list-style-type: none"> ● 円安による調達コスト上昇懸念の一方、2Q以降は原油価格下落の影響によるコスト減少を見込む
為替	<ul style="list-style-type: none"> ● 想定レート: 1ドル=113円、1ユーロ=140円

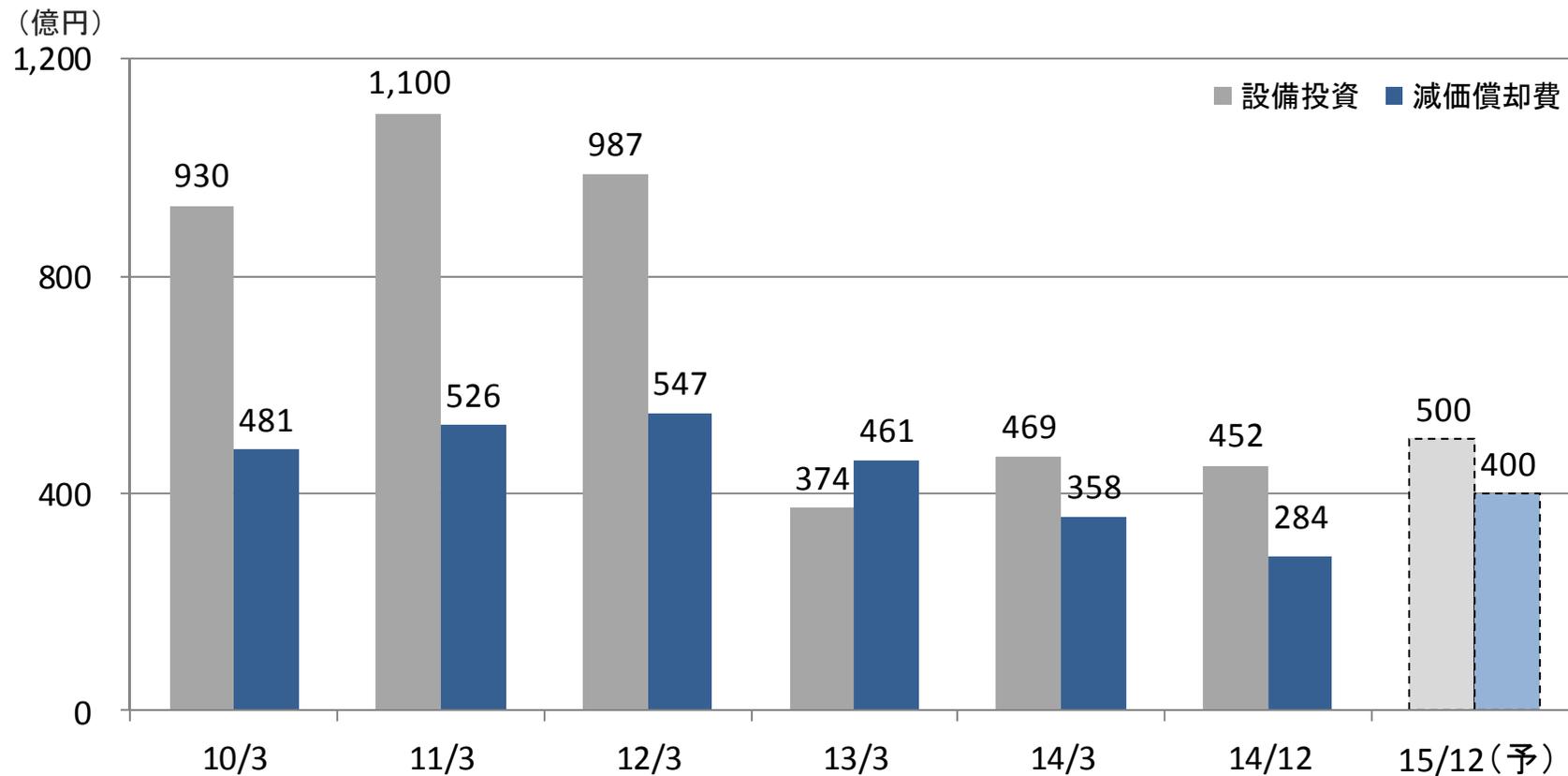
連結業績予想(2)

(前提)

ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none">● 液晶 1Q見込み 数量: 3Q比、微減 価格: 3Q比、△1桁前半%の下落 15年(暦年)は市場と同程度の成長を見込む (前年比+1桁半ば~後半%)
カバーガラス (化学強化専用ガラス)	<ul style="list-style-type: none">● 採用機種や販路の拡大により増加
電子部品	<ul style="list-style-type: none">● 光関連ガラス: 堅調継続● その他: 春先から回復
太陽電池用基板	<ul style="list-style-type: none">● 安定した出荷継続
ガラスファイバ	<ul style="list-style-type: none">● 自動車部品向けを中心に堅調● 新設備(15年4月稼働)による増産
医療・耐熱・建築	<ul style="list-style-type: none">● 海外市場での積極的な拡販

設備投資・減価償却費の見通し

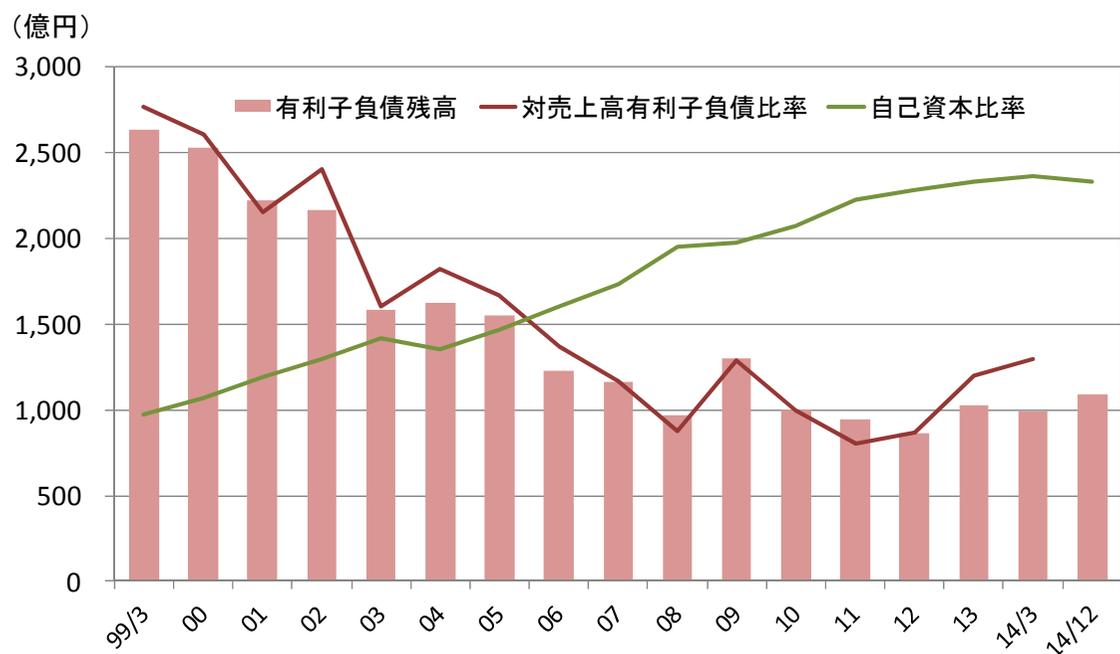
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> ● ガラスファイバの能力増強(マレーシア)、液晶用基板ガラスの海外展開(中国・厦門)、新規分野への投資など ● 500億円程度(完工ベース)
減価償却費	<ul style="list-style-type: none"> ● 400億円程度



(注) 14/12期は、海外子会社の1~3月の設備投資額を含んでいます。

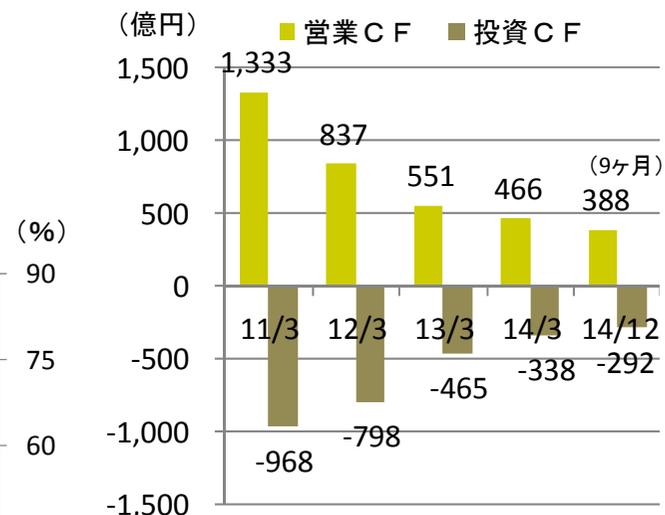
有利子負債削減とキャッシュ・フロー重視の事業運営

有利子負債	1,091億円(14/3末比+96億円)
自己資本比率	70%(同△1%)

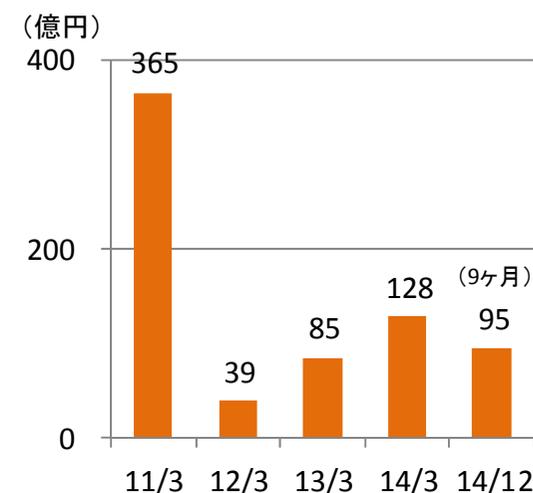


※対売上高有利子負債比率=連結有利子負債÷連結売上高×100

営業CF・投資CF 推移

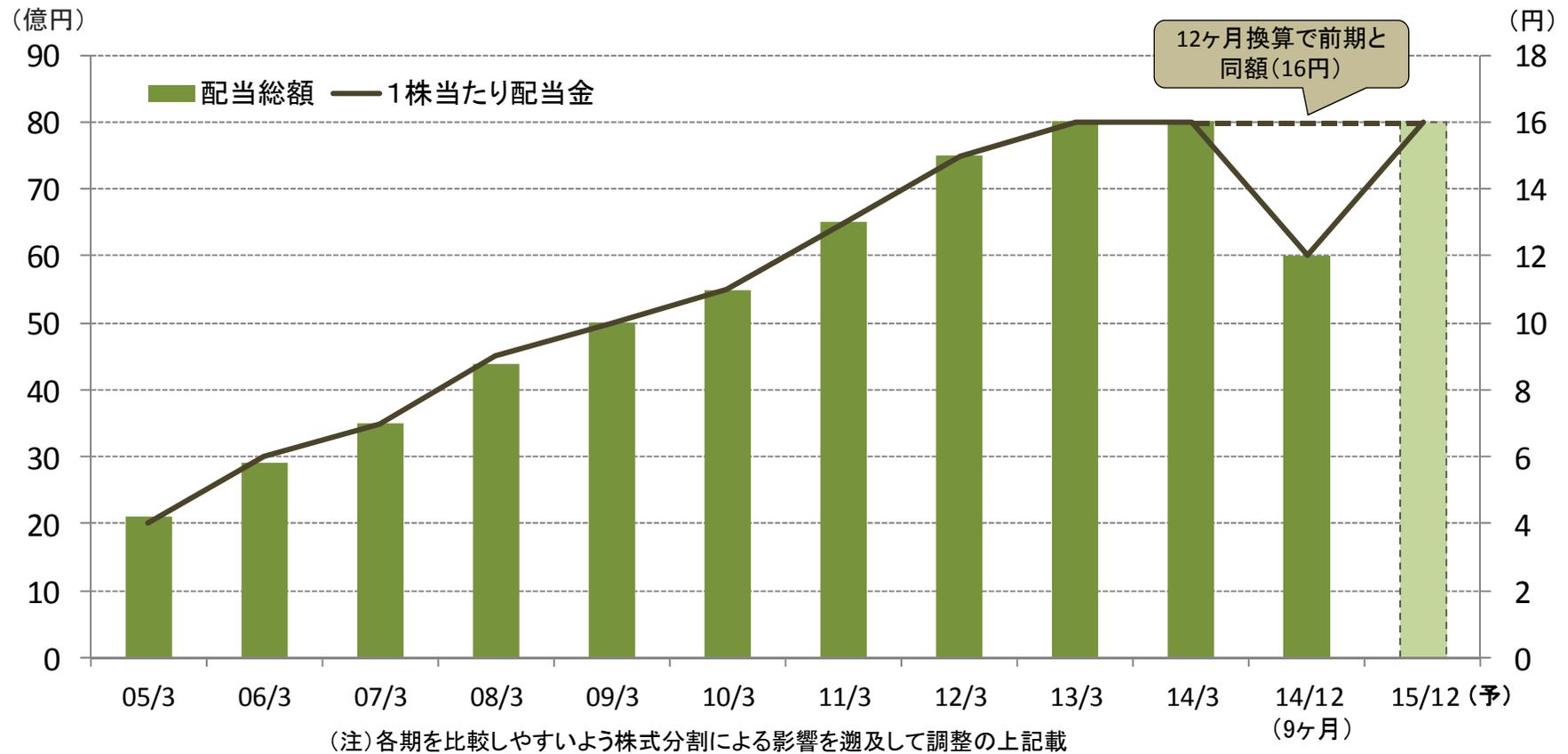


FCF 推移



配当方針と配当予想

利益配分の 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 長期的に安定した利益還元 ● 内部留保(将来を見据えた研究開発、企業体質強化)
2015年12月期 配当予想	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間・期末とも、1株につき8円(年間配当16円)



2015年度以降の経営課題

《中長期的な経営戦略》

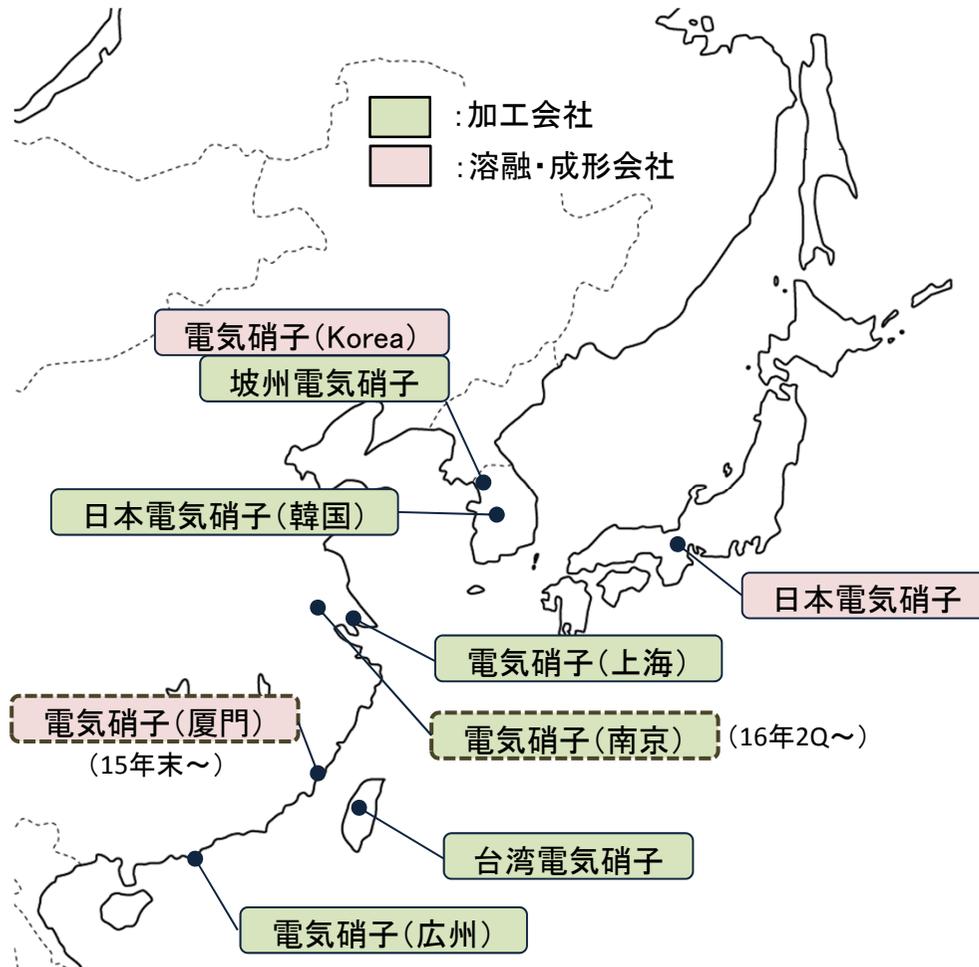
- バランスの取れた盤石な事業構造の構築
- 持続的成長の実現

《行動方針》

ディスプレイを強く、ノンディスプレイを大きく

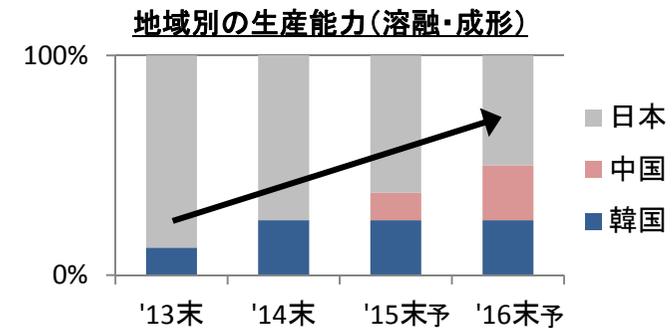
ディスプレイ(1)

(薄型ディスプレイ用基板ガラス)



海外生産の強化と収益性の改善

- **電気硝子(厦門):**
15年末稼働予定
- **電気硝子(南京):**
中国市場での生産・供給体制の強化
16年2Q(4-6月)稼働予定



- **設備当たりの生産量の拡大:**
海外拠点…高効率・フル生産
国内拠点…開発品や高スペック品の対応、
製造技術開発

高精細化への対応

超平滑、低熱収縮の特性を持った新製品の開発

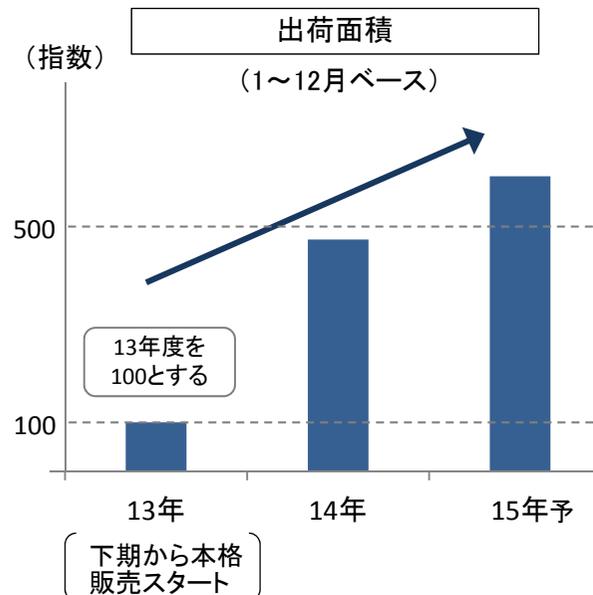
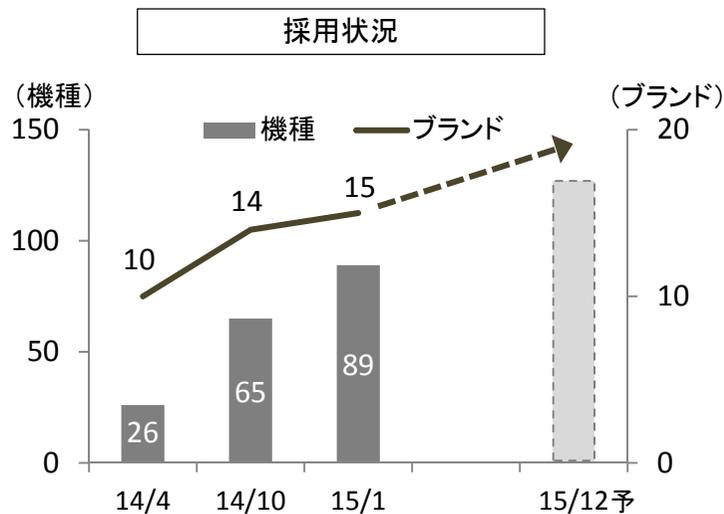
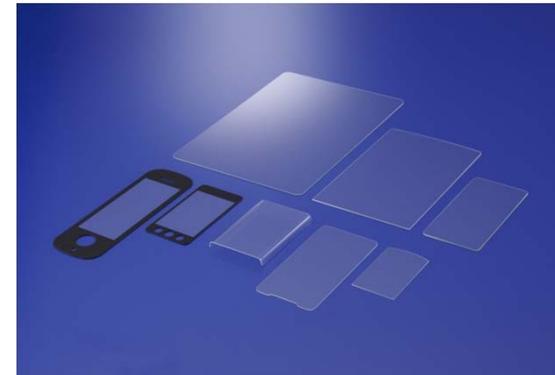
ディスプレイ(2)

(化学強化専用ガラス **Dinorex**)

採用機種拡大とエンドユーザーの開拓

- ✓ オーバーフロー製法による高い平滑性
- ✓ 化学強化の時間短縮が可能
- ✓ 高い透過率

⇒ 15ブランド89機種に採用
(LG、SAMSUNG、TCL、Coolpad・・・)



ハンディスプレイ(1)

(ガラスファイバ)

15年度目標:売上高600億円台
営業利益率10%以上

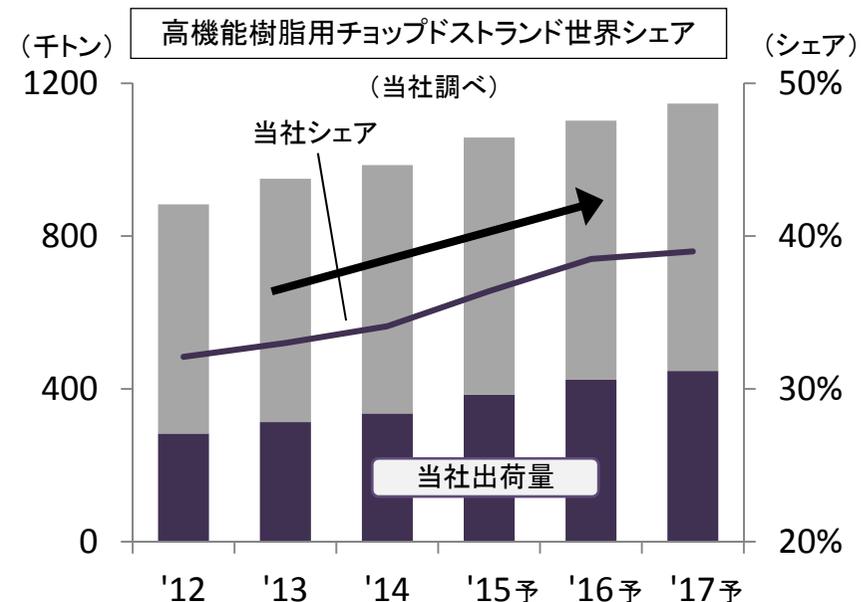
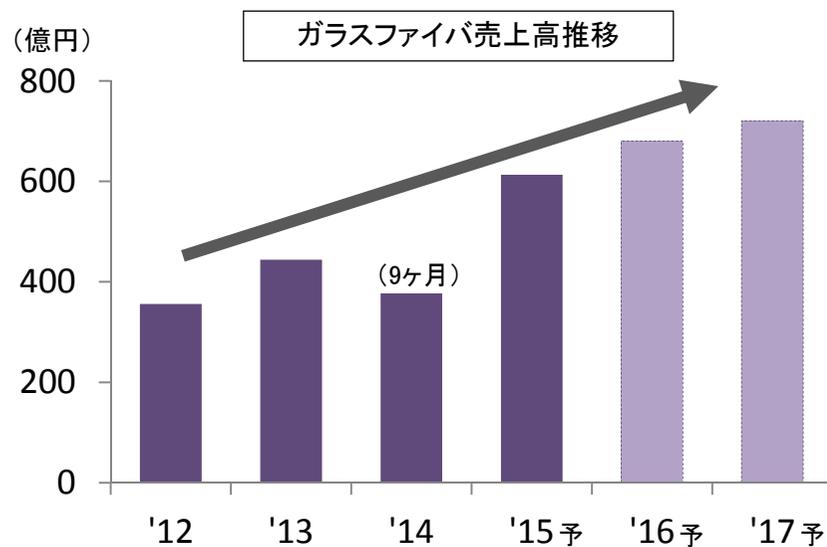
- ✓ 自動車向け高機能樹脂用:
自動車市場の成長、軽量化、低燃費化の進展による需要拡大に対応
- ✓ セメント強化用:
建物外壁やトンネル天井補修など社会インフラ関連需要に対応



高機能樹脂用チョップドストランド



インテークマニホールド

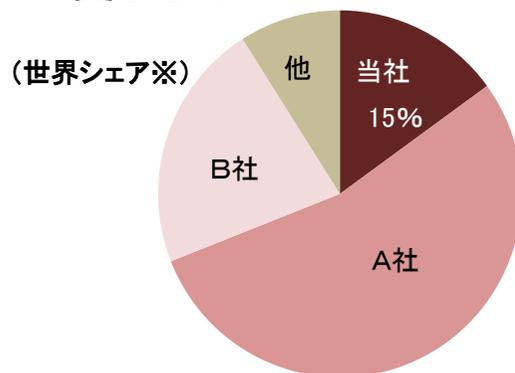


ハンディスプレイ(2)

(医薬用管ガラス)

海外市場中心に拡販

- ✓ 拡販(前年比+30%、中国向け3倍以上)
- ✓ 生産能力の増強(マレーシア)
- ✓ 新製品の開発
(耐薬品性の更なる向上)

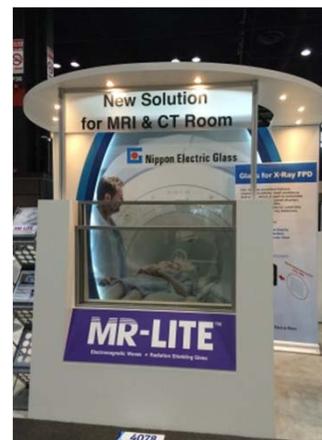
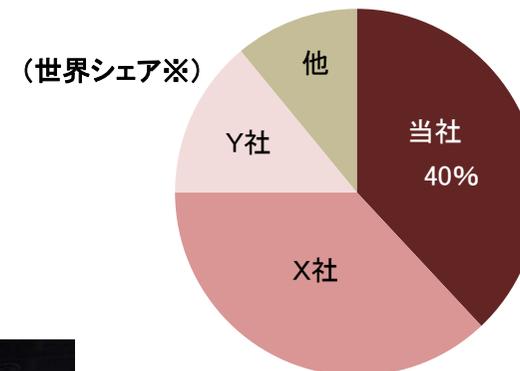


医薬用管ガラス

(放射線遮へい用ガラス)

シェアの向上

- ✓ 高度医療施設の需要拡大に対応
- ✓ 海外市場での拡販
- ✓ 国内特注品需要の開拓



放射線と電磁波を同時に遮へいする<MR-LITE>



放射線遮へい用ガラス: 慶応義塾大学病院
(ハイブリッド手術室)

※当社調べ

ハンディスプレイ(3)

(光・電子デバイス用)

- 通信インフラの増大に対応
- 15年度は30種以上の開発品の育成
(赤外線吸収フィルター、半導体サポートガラスなど)
- 「通信」「自動車」「家電」の技術進化に対応



光関連ガラス

(照明用)

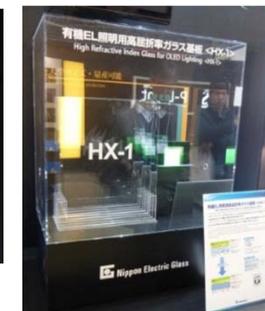
- 次世代照明用ガラスの開発と拡販
 - ・ 蛍光体ガラス<ルミファス®>
 - ・ 超薄板ガラス<G-Leaf®>
 - ・ 高屈折率ガラス基板<HX-1>
 - ・ IEL(内部光取出層)付ガラス基板
(サンゴバングループとのJV)



蛍光体ガラス<ルミファス®>



超薄板ガラス<G-Leaf®>



高屈折率ガラス基板<HX-1>

(耐熱・建築用)

- 調理器トッププレート用: 海外拡販
- 防火設備用ガラス:
国内教育施設向けの展開、海外拡販
- ガラス-樹脂積層体<Lamion®>の物件開拓
(ディスプレイカバー、駅ホームドア、自動ドア等)

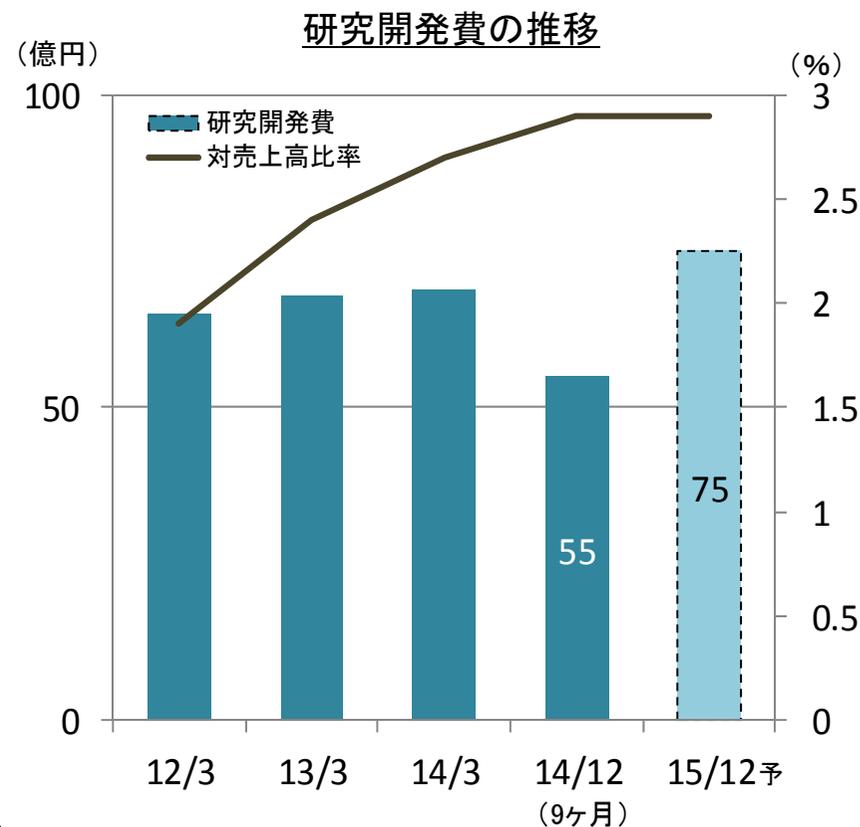
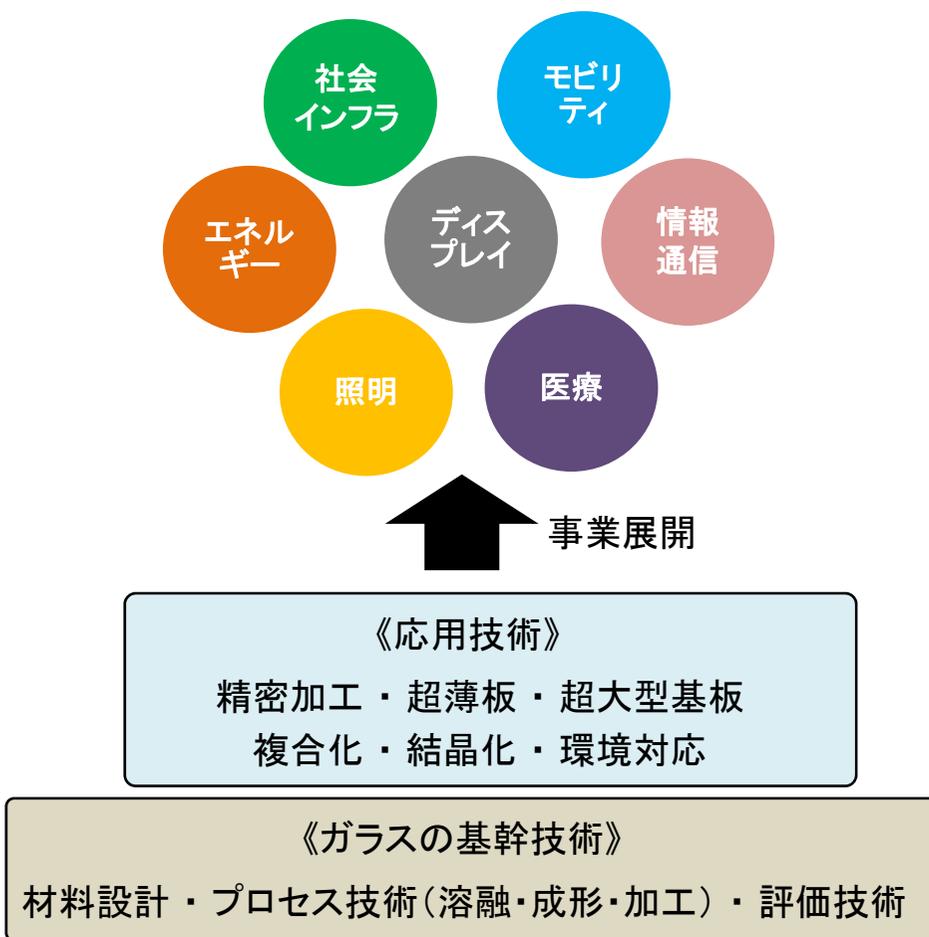


<ファイアライト>採用例: 取手市立永山小学校

研究開発の強化

ガラス組成開発、事業化の加速、製品の付加価値向上

- ✓ 外部の研究機関との研究開発の推進
- ✓ 他企業との連携・協業の強化



日本電気硝子の概要



主要な事業内容		
電子・ 情報用 ガラス	薄型パネルディスプレイ(FPD)用	液晶ディスプレイ(LCD)用ガラス 有機ELディスプレイ(OLED)用ガラス
	ブラウン管用	ブラウン管用ガラス
	カバーガラス用	化学強化専用ガラス<Dinorex>
	光関連	光通信デバイス用キャピラリー・フェルール 光通信デバイス用レンズ部品 非球面レンズ用硝材<マイクロプリフォーム>
	電子デバイス用	機能性粉末ガラス イメージセンサ用板ガラス 小型電子部品用管ガラス 蛍光体ガラス<ルミファス>
	太陽電池用	太陽電池用ガラス
その他 用ガラス	ガラスファイバ	機能樹脂用チョップドストランド 強化プラスチック用ロービング 自動車用チョップドストランドマット セメント強化用耐アルカリ性ガラスファイバ
	建築用	ガラスブロック 結晶化ガラス建材<ネオパリエ> 防火設備用ガラス<ファイアライト> 超薄板ガラス-樹脂積層体<Lamion> 超低反射膜付ガラス<見えないガラス>
	耐熱用	超耐熱結晶化ガラス<ネオセラム> 耐熱ガラス<ネオレックス>
	医療用	医薬用管ガラス 放射線遮へい用ガラス<LXプレミアム>
	その他	照明用ガラス 魔法びん用ガラス ガラス製造機械

会社概要	
社名	日本電気硝子株式会社
本店所在地	〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号
創立	1949年12月1日
代表者	取締役会長 井筒雄三 社長 有岡雅行
資本金	32,155百万円
従業員数	連結5,084名(14年12月末)
事業内容	特殊ガラスの製品およびガラス製造機械の販売
事業場	大津、藤沢、滋賀高月、能登川、 若狭上中、精密ガラス加工センター
営業所	大阪、東京
連結子会社	国内 12社 海外 11社 (マレーシア、韓国、中国、台湾、等)

(問い合わせ先)
総務部広報・IR担当
TEL : +81-(0)77-537-1702
<http://www.neg.co.jp>

予想に関する留意事項

- ◆ 本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。
- ◆ 実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。